

大阪市都市整備局 建築たいけん！プログラム 2023年度 実施概要レポート（プログラム実施の様子と、児童・先生の感想）

R5.12

プログラム

まちあるきを行う

◆地域学習のカリキュラムとして西九条小学校5年生(R5.6.9)、平野南小学校3年生(R5.6.23)、帝塚山学院小学校2年生(R5.10.16)で実施しました。



当日の様子

①専門家によるレクチャー



②まちあるき



③グループワーク



④発表



感想



児童

- ・授業のおかげで、自分の町の知らない道や建物を見つけることができた。
- ・講師の先生が、同じ建物の話しているのに別の建物の話をしているかのように解説をしていて凄いと思った。
- ・面白い建築を見つけるのは難しかったが、楽しかった。

- ・「様々な見方ができる」ことや「観察することの大切さ」それを言語化することの大切さを知れたので、今後の授業にも活かしていきたい。
- ・こどもたちが安心して、活動に取組んでいたと思う。



担任

成果事例（まちあるきで児童が見つけた魅力的な建築物）



「良いと思ったところ」

- ・窓のカタチが穴みたいで面白い。
- ・家のカタチがおしゃれだから、窓をこんな風にしたと思う。

「専門家のコメント」

- ・窓の形が特徴的で、凸凹している。こういう風にすると、どの部屋からでも「自分の部屋」が外からでも分かる。
- ・自分の居場所が分かるように、考えられてデザインをしていると思う。



- ・今では、あまり使われていない瓦が屋根に使われていたところが、面白かった。
- ・屋根が反っているのは、風に強いカタチにするためだと思う。

- ・反った屋根（から破風屋根）は神社やお寺の特徴的なもので、左右対称を強める。
- ・屋根は瓦ではなく、銅板だと思います。素材が普段使われていないものを使用することで特別感が増すと思う。



- ・竹がたくさん使われていて、床の模様がおしゃれだと思う。
- ・建物の色々なところを立派にするためだと思う。

- ・写真の撮り方が上手で、分かりやすい。左右が竹の塀になっていて、真ん中の家の人が統一したと考えることができる。
- ・統一することにより綺麗に見える。

担当：大阪市都市整備局 企画部住宅政策課（まちなみ環境）

T E L / 06-6208-9621

E-mail / ka0039@city.osaka.lg.jp

- ◆国語のカリキュラムとして、茨田小学校6年生(R5.6.12)、喜連小学校6年生(R5.11.17)で実施しました。
- ◆地域学習のカリキュラムとして、荻田南小学校5年生(R5.11.2)で実施しました。

当日の様子

①事前学習



②オリエンテーション(けんちくクイズなど)



③班で話し合い



④模型づくり



⑤発表



⑥完成作品



感想



児童

- ・元々、将来の夢が建築士だったので楽しくて、いい体験をすることができた。
- ・作っている時、一から構想を考えないといけないから諦めそうになったけれど、頑張って作って完成した模型を見ると嬉しかった。

- ・建築に、より興味・関心を持たせるために、時間があれば事前に建物の紹介を兼ねた学習があればよいと思う。
- ・こども達がとても楽しんでいて、いい経験ができたと思う。



担任

成果事例 (完成した未来のまち)



楽しく、おだやかなまち



楽しい町



みんなが気持ちよく過ごせるまち

工夫したこと

- 家族や友達と楽しく過ごすために飲食店をたくさん置いた。
- 行きたところに行くために駅や空港を置いた。

- 高齢者のために老人ホームを置いた。
- 老人ホームの近くに、スーパーとショッピングモールを置いた。

- みんなが、楽しく過ごすために遊園地やボーリング場を作った。
- 車が渋滞しないように道路を太くした。



しんがるなまち



みんなで楽しいまち



地域のつながりで安心安全なまち

- みんなが住めるように高いマンションを建てた。
- 楽しませるために遊園地を作った。

- 電柱を支えるために木の棒を置いた。
- 家を可愛くするために、屋根を花にした。

- 地域のつながりを強くするため、交流場や大きな公園を置いた。
- 家がたくさんあるところの近くに商店街を置き、買い物をしやすいようにした。